



岡山県立岡山東商業高等学校 同窓会会報

第8号 令和3年2月15日発行

発行
岡山県立岡山東商業高等学校同窓会
<http://www.dosokai.ne.jp/higashisho/>
デザイン・印刷 株式会社サラト
題字 東商12期 有瀬加子(芳心)

— 同窓会“発足120周年”を迎えて —



(昭和45年ごろ)



(令和2年)

一昨年の学校創立120周年に伴って、同窓会も創立時の第1回目の卒業生を輩出して「発足120年」となり令和2年3月には120回目の卒業生を送り出しました。

その頃の様子は想像し難いものであり、商業という学問も世の中にはまだ浸透していなかった時代だと思われそうですが明治34年3月卒業の1期生は25名でした。

以降、2期生30名～3期生59名と増えて行きますが今があるのもこの1期卒業生から始まって連綿と絶えることなく続いて来ている、歴史ある同窓会120周年であります。

そして、今も毎年300余名を送り出す商業専門高校としては全国5番目を誇るマンモス校であり卒業生は令和元年度で33,464人を数えるに至っております。同窓生も時代と共に大きく変化していますが、歴史と伝統のある「東商」というブランドはいつも心のどこかに誇りとして輝いているのではないのでしょうか。今回は校舎や校内環境の昔と今の姿を見比べて、母校の変遷ぶりとを感じ取って戴き進化発展し続ける後輩達へ熱い東商エールを送って戴きたく思います。懐かしのグラウンドが写る一方で、学校建物としては地藏川を挟んだ食堂は姿を消してしまい、写真手前にかすかに写る昔ながらの木造の校舎や講堂(体育館)は無くなり、今では大きな体育館や武道場が建てられています。

改装工事も終わり新しい教室で勉学に励み、やがて社会に出て「東商」同窓生として大いに活躍してくれることを願って止みません。



(昭和35年ごろの空から見たグラウンド)



(第1回卒業式)

校章の移り変わり



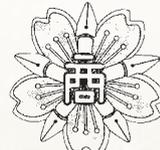
(明治31年) 開校時
そろばん玉の校章



(明治43年)
コマースカレッジの
頭文字を向き合わせた
帽章



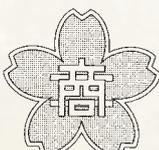
(大正6年)
記章(帽章)を改正
ペンと桜



(大正7年)
記章(帽章)を改正
つけペンと桜



(昭和3年)
セカンド・コマースカ
ールの頭文字は
二商の記章



(昭和18年)
時節柄ローマ字から
漢字に変更

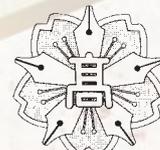


(昭和22年)
戦後併設学校から
独立時の二商の記章



(昭和23年)
二商は産業高校と
改称される

(商業高校)と(産業高
校)を統合後に「つけペ
ン」から「万年筆」とな
り桜の花びらが大きく
なって現在の形



(昭和24年)
現在の校章となる



同窓会会長 石川 浩朗

同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

令和2年の1年間も倉商との定期戦に始まり翠光祭、東商デパートと、生徒の皆さんの生き生きとした活動の多くを見させていただきました。これらの様々な活動においてすばらしい活躍の成果が見られました。などと、生徒たちの活躍、ならびに同窓生の方々のご活躍についてご報告ができる予定ではありましたが、3月に発生した新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により様々な活動が延期又は中止になるという事態になりました。

今年こそは全国に「岡山東・岡山東」と校名が響き渡ることを楽しみにしていましたが、中国大会・全国大会などの大きな大会は、中止になり残念でなりません。しかし、代替え大会が無観客にて行われたと聞いております。きっと将来につながる今年ならではの思い出ができたものと思います。

そして、同窓会一大イベントの第120回同窓会総会も同様に残念ながら中止せざるを得ませんでした。しかし、承認の必要な議事につきましては、評議員の方々に郵送

にて審議事項のご承認をいただき今年度の活動を行うことができました。ご理解いただき誠にありがとうございます。

また、私事ではありますが、趣味で「刻字」をやっております。先日その文言を探しておりましたら「愛心・愛する心にもいろいろあります。」という文言に出くわしました。禅の言葉でした。愛別離苦、愛するものとの別れはつらい。しかし、これを絶つことも大切である。と理解することもできました。この様なコロナ禍において命の大切さを改めて考えさせられ、自分や家族のことを始め、自分を取り巻く多くの方々のことを思い、日々暮らしていくことが、幸せにつながるのではないかと強く思うようになりました。同窓生の皆様が、このコロナ禍を乗り切られますようお願いしております。

終わりになりましたが、同窓会会報第8号発刊にあたりましては、お忙しい中、在校生新聞部の皆様、同窓生の皆様にご寄稿いただく等、ご協力いただき大変ありがとうございました。また会報は毎年続けて発刊してまいります。限られた紙面ではございますが母校の現状ならびに生徒の皆様の活躍の様子、そして会員皆様の活躍の様子等をお知らせすることができればと考えておりますのでご協力方よろしくお願いいたします。



校 長 岡田 哲朗

同窓会の皆様方には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素から本校教育の充実発展のために、物心両面にわたり温かい御支援をいただいておりますことに対して深く感謝申し上げます。コロナ禍の中で、同窓会の皆様も少なからず様々なストレスを感じておられるのではないかと拝察いたします。

さて、創立122年を迎える本校では、昨年度末からのコロナ禍の中、教育活動が大幅に制限され、多くの学校行事や部活動の大会・コンテストなどが中止となり、多くの生徒諸君が目標を見失ったといっても過言ではありません。昨年度末以来の卒業式、入学式などの式典は縮小して行いました。そして4月20日からの臨時休業は5月末まで延長となり、67年の歴史の倉敷商業高校との定期戦も、苦渋の決断の中で中止といたしました。部活動においては中国大会やインターハイ、全国大会なども中止となり、経験したことのない未曾有の危機に翻弄され、再開された学校も様々な制限の中で、非日常の教育活動となりました。

そんな中で、実施したのが唯一体育祭です。文化祭に

ついては、会場が密になることを避け中止とし、体育祭は感染対策を十分行い、保護者や地域の方々などの観客も御遠慮いただき実施しました。一方、本校の商業教育の集大成と位置付けている、第27回東商デパートは様々な課題のある中で現時点（10月末）では、やり方を変え実施する予定にしています。今回は各クラスが、Web上の仮想ショップに商品を陳列し、注文を受けるというネットショップ型で開催する予定です。今回の東商デパートは、「想定外の変化に対応した取組」として、本年度の本校のスローガン、『3C (Change・Challenge・Create) 「～改革・挑戦・創造～」』そのものであると考えています。

新型コロナウイルスはさらに拡大を続けており、今後も様々な影響は避けられませんが、多くの課題に対して最適解を模索し、本校は地域に必要とされ、選ばれる「東商」であり続けるよう力を尽くす所存です。どうか同窓会の皆様には今後とも、温かい御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに本校同窓会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝を心よりお祈り申し上げ御挨拶とさせていただきます。



同窓会の思い出



一商45期 横田 稔治

同窓会発足120周年を心よりお慶び致します。私が95歳の人世で特に感謝しておりますのは、足腰が健全であることです。これは青春時代において一商バレーボール部で「兎とび運動」により鍛えられた結果、股関節に柔軟性を沁み込ませたからだだと思っております。戦後私は神戸経済専

門学校(戦前は神戸高商)へ入学し再びバレーボールに親しみ、よき先輩の指導を受けた効果があります。私は今後の人世にとって、大正、昭和、平成、令和の世代を通してこの「兎とび運動」によるお蔭をいつまでも保ち続けます。どうか同窓の諸兄姉はこの健康につながる「兎とび運動」に挑戦しませんか!!



東2期 中尾 昭義

私達は東高2期(通算50期)卒業です。昭和20年4月岡山県立第一商業学校に入学し、入学後3ヶ月で戦災にあい、校舎は全焼し残ったのは寄宿舎の食堂と体育用の畳部屋一棟であった。そこで各自木製の机を持参し勉学に励んだ。昭和22年度学制改革で新制中学が発足し、6・3・3制

の制度に変更となり、昭和23年3月岡山県立第一商業学校併設中学校卒業となり、戦後復旧及び前年度大地震による家屋損壊等で各家庭の事情により併設中学校で卒業した者もいたがその人たちも昭和26年3月の岡山県立岡山東高等学校の卒業名簿に加えてくださった学校及び同窓会の役員の方に感謝申しあげたい。このことで現在の同窓会会員名簿になったことが心に残っている。



東3期 藤森 武

私が見聞した記憶では縣商11期山田音次郎先輩が昭和10年・1935年10月初代会長を務められそれ迄は校長先生が兼任していた。その紆余曲折を経て120周年の歴史を刻み折々にご尽力を頂いた諸先輩に感謝を申し上げます。私自身が同窓会の諸事業のお手伝いをさせて頂いたのは昭

和40年頃に就任された縣商23期の清水弘先輩の頃からでした。当時の役員の皆様の母校に対する情熱たるや日本四大縣商の卒業生としてのプライド満々たる方々に圧倒される日々で、母校の名声を全国にと懸命な努力をされていました。中でも役員全体が野球部後援会員兼任となり野球部の強化を図り平松投手を擁して、甲子園春の選抜大会全国優勝を果たし有名校にした。

昭和51年11月に結成した「東六会」及び「二水会」が、今日までの長きにわたって続いていることは大変喜ばしく有難い。岡山県立岡山東商業高等学校で出会った縁を同期の皆さんが大切にしてきた事実である。会を開けば、想い出話や家族構成、健康状態等に花が咲き、和やかな一時を過ごすことができる。昔ながらの気の置けない大切な繋がり、何ものにも替えがたいものである。次第に自分の身体自由度が減ったり、生活の楽しみも減ったり、このコロナ禍にも阻まれたりしながらも、活力を共有できる「東六会」及び「二水会」を家族に協力してもらいながら大切にしていきたいものである。(別冊・卒業50周年記念誌「とろうく」参照)

東6期 桑田 徹也



岡山東商同窓会役員に感謝

6期 桑田 徹也

会報第8号の掲載記事について、日頃から思っていることをこの機会に申し述べます。同窓会の長い伝統を受け継ぎ、現在も維持して下さっている石川浩朗会長をはじめ同窓会役員の皆様に敬意を表するとともに感謝しております。同窓会の活動は、「会則」に則り組織の継続のため、毎年新規卒業生の入会から始まり評議員会・総会を経て遅滞なく消化しております。各期同期会としまして「同窓会事務局」と連携して事の処理に当たっているところであり、日頃から頼りにしています。要するに事務局の組織が機能していることが重要であり、継続の基本であります。これからも伝統ある本学の同窓会を維持するため、益々研鑽されるようお祈りします。



東8期 市川 捷治

東商8期生は県商以来の誠実・質素・勤勉をモットーとして、日夜文武両道を目指しました。名門の野球部は春の中国大会を大差で制し、第1シード校で夏の県大会に臨みましたが、予想外の展開でベスト4に終わる結果となりました。卒業時の進路では、昭和32年不況にも拘わらず、

大手企業にも多数入社し、少数の進学組は国公私大に合格を重ねました。周年記念の同期会には、全国各地から多くの参加者が岡山に集まり、大いに盛り上がりました。80才を超えた昨今は、寄る年波には勝てず、各自がマイペースで、静かに余生を楽しんでいます。後輩の皆さんが、母校の伝統を継承され、大いに活躍されますよう期待しています。

新企画

『懐かしの恩師』を訪ねて...



今回より“新シリーズ”として企画しました。同窓生にとっては様々に思い出深いお世話になった恩師を訪ねて印象に残っている出来事や思い出話を聞きして高校時代の思い出を振り返る1ページになれば幸いです。

第一回目の登場は商業科担当の「池畑調一先生」。同窓生が時々散歩でお見掛けする事がありお声を掛けさせて戴きました。ご高齢ではありますが、すこぶるお元気で取材のお願いにも快く応じて戴きました。



商業科 池畑 調一 先生

- 生年月日
大正14年(1925)
8月27日生の95歳
- 在任期間
昭和25年(1950)
～昭和45年(1970)
- 担当教科
商業科商品
(本来は理化系で化学繊維がお得意)

- Q:部活は何か担当されてましたか?
競技経験はないのでバスケットボールの技術指導はできなかったが部長として大会引率などをしていた。
- Q:20年間の在職で何が印象深いですか?
1年生を担当した平松君が昭和40年(1965年)春の甲子園優勝投手になった事かな?物静かで真面目で一生懸命に野球に取り組んでいた印象がある。

- Q:今日まで心掛けてこられた健康法をお聞かせください!!
毎日の散歩と途中ベンチで休憩した時に詩吟を2回吟じる事。煙草は吸わないがお酒は嗜みます(笑)

対談後、近くのご自宅までお送りしましたがしっかりと足取りで歩かれ同窓会報が届くのを楽しみに待ってますと、笑顔でおっしゃっていました。

本校の学科とコースについて

(1) 商業科 1年 8クラス (定員 320名)

平成11年度入学生より、くくり募集制度を導入しており、1年次は全員基礎的な商業科目を共通に履修します。したがって、1年次は全員商業科となります。2年次から、一般入学者選抜の合格者は、本人の能力・適性・興味・進路等により、下記の学科・コース(類型)を選択して学習します。(特別入学者選抜の合格者は、原則として2年次より当該学科に進級します。ただし、ビジネス創造科は、コースを自由に選択することができます。)

(2) ビジネス創造科 2・3年 6クラス (定員 各240名)

地域経済の発展に貢献するビジネスリーダーとして必要となる基本的な能力を育成します。また、スペシャリストを目指して、主体的、継続的に学ぶことのできる能力を育成する学科です。

① アドバンスコース

2・3年 1クラス(定員 各40名)
大学等への進学を目指します。

② 会計ビジネスコース

2・3年 1クラス(定員 各40名)
簿記会計の基礎を学び、企業の経営分析など会計に関わる発展的な内容を学習します。

③ 総合ビジネスコース

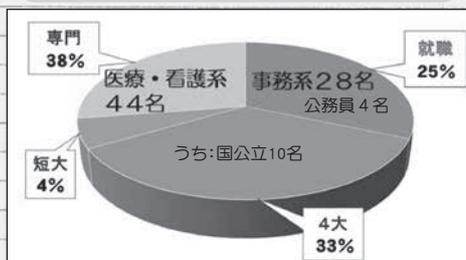
2・3年 4クラス(定員 各160名)
商品や流通などに関わる幅広いビジネスを学習します。

(3) 情報ビジネス科 2・3年 2クラス (定員 各80名)

ビジネスにおける情報活用に関する基本的な知識・技術を習得します。また、情報通信ネットワーク分野におけるスペシャリストを目指し、主体的、継続的に学ぶことのできる能力を育成する学科です。

令和元年度卒業生進路状況

就職 25% 進学 75%



オープン スクール

毎年、夏休みに実施していたオープンスクールはコロナ禍のため、残念ながら中止となりましたが、9月のオープンスクールでは、【午前の部】部活動体験【午後の部】学校紹介、体験講座(簿記・情報処理・マーケティング)を1日で実施しました。中学生へは、学科とコース説明、進学や就職に関する進路情報、部活動体験、在校生が主体となって行う体験講座をとおして直接話をする機会も設けています。リーフレットを読むだけではなく生の情報を体験から得ることができ、学校選びの判断材料となる大きな行事の一つです。



翠光祭(体育の部) — 文化の部はコロナ対応により中止 —

コロナ禍により主だった学校行事が次々と中止になる中、なんとかこれだけは開催したいと、工夫を凝らした体育の部が無観客ながら無事に行われました。9月29日早朝、続々と登校する生徒たちを、校舎前面に掲げられた全校制作のモザイクアート「東魂侍とさくらちゃん」が迎えてくれました。密になるのを避けるため、競技種目も代案が考えられ、騎馬戦が「しっぽ取り」、障害物競走が「玉入れ」になるなど例年とは違うプログラムでしたが、やってみると予想以上に盛り上がりました。皆が一番楽しみにしている「応援合戦」では、手作りの衣装に身を包んだ赤・青・紫・黄の4チームが、今までの練習の成果を華やかに披露しました。すべての競技でエネルギー溢れる戦いが繰り広げられ、今年の優勝は青チームが勝ち取りました。最後は3年生全員による手を繋がないフォークダンスが行われましたが、かわいらしい振り付けに、踊る方も見る方も終始笑顔がこぼれていました。来年は文化の部も体育の部もいつも通りに開催できる社会情勢であって欲しいという皆の思いの中で、今年の翠光祭は幕を閉じました。



倉商定期戦 — コロナ対応により中止 —

第67回目となる開催の予定でしたが、誠に残念ながら中止となりました。伝統ある商業高校同士の部活の対抗戦というのは全国的にも珍しく周辺高校からも注目を浴びる(?)有名な大会であり、生徒達は毎年楽しみにしていましたが、この思いを来年の大会にぶつけて欲しいと思います。

第27回東商デパート 取締役社長 松友 静久

11月21日土曜日、今年も岡山ドームで例年とはかなり違う形での東商デパートが開催されました。

新型コロナウイルスが猛威を振るうなか5月の1ヶ月間学校が休校になりました。6月に学校が再開されると、デパート開催の可否から話し合わせ感染防止の観点から対面販売をやめることになりました。そして初めてのインターネットを利用した事前予約によるテイクアウト方式での実施ということになり、

私たちはSNSでの販売促進活動に力を入れました。

当日は、3密を避けたため例年のような賑やかさもなく、また新しい形式での困難やハプニングもありましたが、なんとか東商デパートを終えることができました。



	部名	部員数	活動内容
運動部	陸上競技	45	県総体代替大会：男子6種目、女子7種目入賞。県選手権大会：男子優勝2種目4種目入賞、女子7種目入賞。県新人大会：男子2種目、女子5種目入賞。
	男子バスケット	8	平成最後の一年は低迷しましたが、令和元年では県新人戦ベスト16に復活しました。今年度の新チームは二年生3人、一年生5人で頑張っています。
	女子バスケット	28	昨年度県大会ベスト4。「他喜力」をモットーに、全国大会出場を目指して、生徒主体で活動計画を立て、日々練習に励んでいます。
	男子バレー	22	昨年度中国大会準優勝。現在春高5年連続出場中。今年度も春高出場目指し、日々の練習に励んでいます。
	女子バレー	32	昨年度県新人大会ベスト8。監督が代わり、新監督のもと岡山県No.1、全国大会出場を目指して、日々の練習に励んでいます。
	卓球	19	今年度秋季県大会男女とも団体戦第3位。「必ずできる」の部旗のもと、中国大会ベスト8に入り、全国大会出場を目指して、日々の練習に励んでいます。
	バドミントン	50	今年度秋季県大会男女団体出場決定。「Bring up the mind (心を育てる)」の部訓のもと、男女で切磋琢磨しています。
	ソフトボール	18	昨年度中国大会準優勝。「やればできる。必ずできる。絶対できる。」をモットーに全国大会を目指しています。
	ソフトテニス	58	7月県総体代替大会 女子団体ベスト8 男子団体ベスト16 左文右武で頑張っていきます。
	柔道	10	今年度、新型コロナウイルスの影響で試合は中止。昨年度は、県大会女子団体3位 中国大会出場。全国大会、中国大会出場に向け日々稽古に励んでいます。
	剣道	8	計画を立て、毎日の練習を一生懸命しています。休日には先輩方に剣を交えての激励をいただき、充実した練習を行っています。
	ボート	28	全国特別大会にて女子ダブルスカルが3位に入賞。選抜大会に向けては新チームで舵手付きキョドルプルでの入賞を目指し、練習に励んでいます。
	硬式野球	63	夏季岡山県高校野球ベスト8。秋季県大会ベスト16。悔しさを胸にこの冬鍛え上げ、来年夏は結果を出します。
	13	389	
文化部	簿記	16	昨年度10月の県商業実務競技大会B部門団体3位。日商簿記1級取得、全国大会出場を目指し、日々努力しています。
	珠算	10	昨年度全国大会出場。珠算・電卓ともに団体戦で全国大会出場を目指し、日々練習しています。
	茶道	41	稽古を自粛していますが、御点前など所作についてビデオで学習しています。茶筌、茶巾等を個人で特定したものを使用するようにし活動再開に備えています。

	部名	部員数	活動内容	
文化部	E S S	21	イギリス人の英語指導助手の先生や国際交流員、諸外国の留学生と交流したり、異文化について発信したり、英語のゲームを楽しんだりしています。	
	書道	24	「夢は逃げない」をモットーに愛される書道部を目指し、日々活動しています。技術向上に力点を置き、全国大会出場を目指します。	
	美術	23	年度末に行われる岡山県高校生美術展に全員出品できるよう、制作をしています。	
	放送	5	NHK杯高校放送コンテストの出場を目指して頑張っています。今年度は校内放送を中心に活動しています。	
	ワープロ	12	昨年度は中国大会（個人の部）に出場。本年度は大会と資格取得のいずれも目標高く設定し活動しています。	
	文芸	9	今年は部室での活動ができない状況になったため、個人活動として作品執筆に取り組んでいます。今年も部誌を出します。	
	コンピュータ	13	昨年度10月に行われた県商業実務競技大会（情報処理の部）団体2位。資格取得・全国大会出場を目指し日々努力しています。	
	吹奏楽	52	昨年度は全国高校総合文化祭出場。本年度はほとんどの行事・大会が中止になる中、オンラインでの演奏など工夫して活動しています。	
	映画研究	5	映画甲子園入賞を目指し頑張っています。校内のデジタルサイネージにもビデオを流しています。	
	写真	67	全国大会9年連続出場。昨年度総文祭で優秀賞、朝日新聞社賞を受賞しました。今年度はWEB総文祭に参加。学校行事の記録や撮影会に積極的に参加しています。	
	新聞	5	年間3回の「東商新聞」発行に取り組んでいます。今年度は記事となる学校行事がなくなったため、例年とは違う視点での「東商」を模索しています。	
	演劇	8	地区大会優良賞受賞。結果は次点。惜しくも7年ぶりに県大会出場を遂げました。また次の作品作りに向けて頑張ります。	
	華道	5	今年度は文化の部がなく作品を発表する機会が減ってしまいましたが、より良い作品ができるように頑張っています。	
	ダンス	65	大会の代替で、加盟校でのリレー動画、作品動画を作成し、各校で共有しました。12月の大会に向けて新しい作品作りを励んでいます。	
	JRC同好会	1	日赤よりの各種案内を受け取っていますが、今年は文書での連絡のみで、実質活動休止中です。	
		18	382	
	31部活	771	約80%の生徒が何らかの部に所属しており、非常に部活の活発である学校と言えます。	

全国高等学校ボート選手権／特別大会 女子ボート部(3位)入賞

表彰式でメダルをかけられた時は、自分が17年間生きてきた中で一番幸せでした。新型コロナウイルスの関係で、小西先輩と最初で最後の全国の舞台となりました。自分にとって初めての全国の舞台。とても緊張しました。決勝レースは、自分でもびっくりするぐらい落ちついて漕ぐことができ、今までで一番いいレースだったと思います。自分がここまでこれたのは、キツイ練習も互いに乗りこえてきた部活の仲間、漕ぎについて色々アドバイスを下さったOBの方々や先生。支えてくれた家族。そしてなにより自分に漕ぎを教えてくれ、ダブルスカルとして日々の練習を一緒にのりこえてきた小西先輩。試合前、緊張している自分を笑わせてくれ、悩みがあると相談のってくれる平松がいてくれたおかげです。心からありがとうございます。自分はあと一年あるので、これからも努力を積み重ねて今回の記録を超えられるように頑張りたいです。

荒川 空美



二人で組む最初で最後の大舞台でした。三位が決まった瞬間は今までの努力がすべてむくわれたと思い、涙が止まりませんでした。コロナの影響で試合が無くなり、目標を見失いかけた時もありましたが、自分がここまで諦めずにこれたのは、共に戦ってくれる仲間が存在があったからです。この結果にたどり着くまで、決して簡単ではなかったことは、近くで互いの努力を見てきた自分達自身が一番知っていると思います。自分一人では成し遂げることができなかった目標に、どんな時もついてきてくれた荒川に心の底から、「ありがとう」と伝えたいです。最後に私にとって一生の宝物になりました。

小西 茉友

同窓会発足120周年の節目にあたり、部活内容も昔と大きく変わっていますのでその移り変わりを見てみました。60年前の活動状況を振り返って今と比べてみたところ次の様になっています。(東商100周年記念誌より)

◆ 60年前にあった今は無い部

運動部……水泳部・蹴球(サッカー)部・滑空部・登山部・体操部・相撲部
文化部……園芸部・科学部・産業調査部・自動車部・生物部・電気部・弁論部・応援団・英文タイプ部・和文タイプ部・速記部
同好会……弓道同好会・少林寺拳法同好会・囲碁将棋同好会・ソーイング同好会・クッキング同好会

◇ 60年前には無くて今はある部

運動部……バドミントン部
文化部……コンピュータ部・ワープロ部・ダンス部

書道部 24時間テレビ『愛は地球を救う』テレビ生出演

書道部部長 渡邊 幸乃

私たちは全国大会を目指し、日々練習に励んできました。しかし、コロナ禍の影響で多くのイベントや全国大会までも中止となり、やるせない気持ちでいっぱいでした。そんな時、24時間テレビ出演の依頼を受け、希望を持つことができました。感染対策・暑さ対策をしての練習は大変でしたが、本番は今まで頑張ってきたもの全てを出し切ることができました。今後も感謝の気持ちを忘れず「愛される書道部」を目指し、部員一丸となって頑張っていきますので、応援よろしくをお願いします。



吹奏楽部 第56回定期演奏会

令和2年12月25日、岡山シンフォニーホールにおいて吹奏楽部「第56回定期演奏会」が新型コロナ第3波による障壁があるなか、昨春から様々な「挑戦」を続けてきた部員や先生方、関係者によってまさに「挑戦の集大成」として開催されました。吹奏楽部の活動として根幹になるコンクールなどへの挑戦や地域行事への参加がほぼ中止になった昨年の活動を憂えた吹奏楽部OBの尽力により、特別ゲストに歌手の「石嶺聡子」さんを招き、大ヒット曲「花」を吹奏楽部伴奏のもと歌唱いただき、この困難な状況のなか来場下さった皆さんの心に花を咲かせました。部員自らが司会をするという例年とは違う「手作り」の定期演奏会はまさに会場が一体となった素晴らしい演奏会になりました。涙や笑いあいの感動の演奏会は部員たちの心に永久に残ることはもちろん、来場の皆さんにも最高のX'masプレゼントだったと思います。この状況下でこれだけの演奏会を開催することが出来た後輩たちを私達OBは「誇り」に思います。また、それを支援して下さいった皆さんにも感謝の気持ちで一杯です。常に県下の活動の先駆者であり続ける東商吹奏楽部の今後にご期待いただき、さらなる応援をお願いしたいと思います。



男子バレー部OB会

ホームページを開設しました!! 同窓会ホームページにもリンクしています

<https://higashisyo-vbob.1net.jp/>



岡山東商高同窓 ゴルフ大会(開催中止)

今回は第45回目となる予定の大会であり、毎回100人以上が参加して開催される恒例の行事で参加を楽しみにされている同窓生の方が沢山おられたことと思いますが、今年は「新型コロナウイルス感染対策」として、会員皆様方のご健康を最優先に考え今年は同窓ゴルフ大会の開催中止を決定致しました。次回の同窓ゴルフ大会につきましては、コロナウイルス鎮静化の折は同大会を開催し、皆様方と再会したいと考えております。

同窓ゴルフ同好会 会長 千田 健治(14期)

近畿支部同窓会総会(開催中止)

今年度より支部長交代となって前任の工藤さん(15期)から引き継ぎました山本重則です。よろしくお願い致します。昭和40年に立ち上げて以来、一度も中止した事がなく今回は第55回目の開催となる予定でしたが「コロナ感染防止対策」として誠に残念ですが中止と致しました。引き継いで初めての総会であり、例年この時期に皆さんとお会いするのを楽しみにしていたのですが、三密を避ける為の止む無しの判断となりました。今後の状況を見極めたうえで令和3年度秋頃開催を予定しています。皆さんの元気な姿でお会いできる様に、声を掛け合っご参加いただき懐かしの「翠の光…」と一緒に唄い語り合いましょう! 「東商」同窓生の多数の参加をお待ちしております。

近畿支部長 山本 重則(17期)

同期会だより



第10期傘寿を祝う同期会

39才の時(昭和54年)に第1回を開催して以来16回目となり、卒業後60年が経って80才を祝う傘寿の会となった。

関東関西等から57名が集い近況報告、カラオケを楽しんだ。まだまだ若い者には負けないと強気な口調も、酒、食事の量が少し減ったかな!?全員が米寿88才までは元気で同期会を実施しようぜとよるこんで解散した。(藤原 和雄)

教室棟・昇降口棟 長寿命化工事竣工!

校舎の長寿命化を図ると共に生徒が落ち着いて学習できる環境を整備するために、令和元年7月~令和2年11月までの間で校舎の大規模改修工事を行いました。教室棟の内装改修、サッシ・照明・黒板等の全面交換、生徒昇降口・トイレなどの全面改修を行いました。

生徒用トイレ

だれでもトイレ(入口右側)

キレイになった最新の教室



東魂侍(男子)とさくらちゃん(女子)



全ての人が快適に使える



内装・サッシの改修



黒板はホワイトボードに

岡山東商「公式」Facebook & Twitter開始!

令和2年4月より学校公式のFacebook & Twitterがスタートしています。後輩たちの現在(いま)、部活動や学校行事のお知らせがされています。Facebook & TwitterをされているOBの皆さんに是非「いいね」や「フォロー」を頂いて盛り上げて頂けたらと思います。なお、これに伴い同窓会が運営していた「岡山県立岡山東商業高等学校」の名称のFacebookページは学校側と協議のうえ「同窓会公式」として今後名称の変更等を予定しております。



Facebook



Twitter



♪公式FacebookページはFacebookで「@higashofbp」と検索して下さい。

♪公式Twitterは「@higashotw」と検索して下さい。

関東支部同窓会(関東翠光会)復活準備進む!!

500余名の卒業生が在住する関東地区で同窓会復活の準備を進めています。40年ほど前には開催されていたのですが、残念ながら今は途絶えている状況です。そんな中、復活希望の声が上がると共に岡山本部からも復活して欲しいとの強い要望があり、このミッションに10数名の有志が立ち上がってくれました。その中でも心強いのが以前開催していた時の中心メンバーである市川捷治さん(8期)と田淵晋也さん(9期)です。ご意見番お二人のアドバイスを頂きながらメンバーは準備を進めています。コロナ禍の現在、開催日程は流動的ですが令和3年(秋)の開催を目指して鋭意準備を進めていますので、東日本に在住の皆様には追って開催案内状をお送りしますのでご期待ください!



◆準備委員会参加者(敬称略)

市川 捷治(8期) 田淵 晋也(9期) 倉田 善男(17期) 門田 三郎(18期)
守時 茂樹(19期) 若杉 数好(22期) 高瀬裕貴子(30期) 落水 剛(31期)

事務局 山本 龍治(25期)

編集後記

誰もが予想しなかった令和2年2月ごろからの「新型コロナウイルス感染症拡大」によって、4月以降は人も物も動きが停止して世の中の経済活動も学校や各種団体などのあらゆる行事中止・縮小などで、世の中が様変わりしてしまった年でした。歴史的にも、今日までには代表的なインフルエンザをはじめ様々な伝染病がありますがこれほどまで全世界中に広まった感染症には本当に恐れおののくものがありました。当然、母校の行事も全国的にも稀な開催となっている「倉商定期戦」も中止となりスポーツの祭典であるインターハイ予選も本選も開催中止となり生徒達には不運としか言い様のない年でしたが、辛境を乗り越えて次の大会に向かって練習に取り組んでいる姿を見てると大変頼もしく思います。そんな状況の中で同窓会総会も(近年には無かったと思われる)中止となり、年に1度の年代を超えた皆さんが一堂に集まって校歌を大合唱し盛り上がる場面なのですが例年行事の中でポツカリと穴が空いた様な気がしています...発足120周年の節目の年にこんな事になって誠に残念ですが、令和3年度は開催して同窓生の皆さんの元気な姿を確認し合える会となります様、祈りながらペンを置きます。事務局 元宗三好(25期)



▲昭和28年の正門



▲昭和35年の運動場



▲昭和35年 校舎と正門



▲体操部



▲登山部



▲昭和35年 廊下と教室入口



▲速記部



▲タイプ部



▲水泳部



▲弓道部



▲相撲部



◀滑空部 (グライダー部)



▲自動車部



第121回同窓会総会開催の
ご案内(予定)

日時: 令和3年6月20日(日)

16時~18時

場所: 岡山プラザホテル